

# 日本庭園学会ニュース

*The Academic Society of Japanese Garden News*

NO. 61  
平成 21 年

案内 平成 21 年度関西大会

発行 日本庭園学会 (会長 藤井英二郎)  
〒 150-0041 東京都渋谷区神南 1-20-1  
(有) 造園会館気付  
TEL(03)-3462-2850 FAX 03-3464-8465  
<http://www.soc.nii.ac.jp/asjg/>



下記の要領で、平成 21 年度日本庭園学会関西大会を開催致します。研究発表・シンポジウム会場は京都市職員会館かもがわを会場とします。

見学会では午後からのシンポジウムに先立ち、鳥羽離宮跡を徒歩で一巡いたしますので、歩きやすい服装でお越しください。安楽寿院においては秘仏である阿弥陀仏をはじめ、朱印帳など関係文書を特別に拝見いたします。また、長年の鳥羽離宮跡の発掘調査において検出された庭石を移設した庭園も見学いたします。院御所における政治・信仰・園遊を考える貴重な機会でありますので、多くの方々の参加を期待いたします。

## 平成21年度 関西大会 プログラム

### 平成 21 年 11 月 7 日 (土) 研究発表会

- 13:00 受付
- 13:30 研究発表会 開会
- 16:00 閉会
- 17:30～19:30 懇親会 (三条河原町周辺)

### 平成 21 年 11 月 8 日 (日) 見学会 (鳥羽離宮跡)・公開シンポジウム

- 9:30 集合 (京都市営地下鉄烏丸線竹田駅南駅舎改札口)  
史跡鳥羽離宮跡・安楽寿院の見学
- 11:30 京都市営地下鉄烏丸線竹田駅 解散  
(各自 移動・昼食)
- 13:00 シンポジウム 受付開始
- 13:30 シンポジウム「再考浄土庭園 2」 開会
- 17:00 シンポジウム 閉会

■大会参加費：500 円 (両日共通) ■資料代：500 円 (両日共通) ■懇親会費：4000 円 (予定)

(参加申込み先)

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2 - 116

京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター 気付 日本庭園学会関西支部事務局 (担当：仲 隆裕)

TEL 075-791-9018 FAX 075-791-9342 Email: naka@kuad.kyoto-art.ac.jp

\* 関西大会への参加希望者につきましては、氏名・連絡先を明記の上、関西支部事務局宛に葉書・FAX または E メールにて事前にご連絡願います。なお、懇親会への参加の有無を必ずお知らせ下さい。なお、当日参加も受け付けますが、資料準備の都合上、事前にお知らせいただくと幸いです。10 月 30 日を申込期限としておりましたが、開催前日の 11 月 6 日 (金) まで受け付けます。

# 研究発表会 全4件

平成 21 年 11 月 7 日 (土)

## ■研究発表 概要

13:30 開会・開会あいさつ

(13:35 ~ 14:05)

### 1 居初家庭園にみる藤村庸軒の茶風と美意識

丸岡喜市

(丸岡樹仙堂代表・金沢美術工芸大学非常勤講師)

概要：江戸時代初期の大茶人・藤村庸軒は、一般に、その茶風が、侘び茶と書院茶の融合の特色をもつと言われている。先般、彼の庭園遺構のひとつである大津市堅田の居初家庭園を改めて実地調査し、その結果、その成立と変遷の事情が一層明らかになった。今回、その結果を踏まえて、主として庭園美学的観点から、改めてこの居初家庭園を分析し、そこから浮かび上がった庭園の特質が、庸軒の茶風や美意識といかに関係するかを明らかにしたい。

(14:05 ~ 14:35)

### 2 古くて新しい黄金分割は今も実在する

堀澤真澄 (舞鶴市文化財保護委員)

概要：平成 21 年 3 月 10 日日本経済新聞文化コーナー「黄金分割は神話だった」に対する反論。演者は、平成 18 年 11 月「日本庭園における三尊石組の黄金比率に関する研究」以来数回にわたり日本庭園学会で庭園論を発表したがこれは黄金分割を基調としているのでここに発表する。

<休憩>

(14:45 ~ 15:15)

### 3 「特別名勝一乗谷朝倉氏庭園 (朝倉館跡庭園) の修理経過報告」

藤田若菜 (福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館)



平成 21 年度全国大会 研究発表会の様子

概要：平成 20 年 3 月、特別名勝一乗谷朝倉氏庭園の 1 つである朝倉館跡庭園の斜面が一部崩落した。その後行った鉛直ボーリング調査から判明した斜面の構造や、斜面安定化のための修理工事の経過、そして今後予定している工事について発表する。

(15:15 ~ 15:45)

### 4 吹田市旧西尾家住宅と藪内竹翠・節庵の作庭

仲 隆裕 (京都造形芸術大学)

概要：旧西尾家住宅 (現：吹田市文化創造交流館) は大阪府吹田市内本町 (旧：摂津国嶋下郡吹田村) に位置する。西尾家は江戸時代末期には仙洞御料庄屋を三代にわたって務めたという旧家であった。現在の建築は明治 9 年に家督を相続した第 11 代與右衛門義成によって明治 25 年から 10 年以上にわたって増改築が行われた。本報告では、義成が師事した藪内家の竹翠・節庵によってなされた燕庵写しの茶室「積翠庵」の露地や主屋庭園の作庭の経緯について概要を報告する。

15:45 ~ 16:00 総括討論

16:00 閉会あいさつ・閉会



## 公開シンポジウム 主旨



史跡及び名勝 平等院庭園

平安時代の日本庭園を語る上で、「浄土庭園」は欠かせない存在である。この用語は昭和はじめごろから使用されはじめたとされるが、その命名者は不明である。また語の定義についてもさまざまな解釈がなされている。

近年、平等院や毛越寺、鳥羽離宮など浄土庭園の代表的存在とされる遺跡の考古学的発掘調査や史料調査が進展しつつあり、造園学、歴史学、文学、美術史、建築史、宗教史学などさまざまな方面において「浄土庭園」に関する興味と関心が高まってきている。その背景には、浄土庭園群をもつ平泉や鎌倉が世界文化遺産の登録の推薦対象となっているという状況もある。

そこで、日本庭園学会関西支部では最新の研究成果に基づき、改めて「浄土庭園」の歴史的意義を検討することを目的として、平成20年度関西支部シンポジウム「再考・浄土庭園」を開催した。

講師には、浄土庭園を代表する事例に関してそれぞれ第一線で活躍されている方々を迎えた。宇治の浄土庭園に関して杉本宏氏（宇治市歴史資料館）、鳥羽離宮に関して前田義明氏（財団法人京都市埋蔵文化財研究所）、平泉を中心とする東国の浄土庭園に関して八重樫忠郎氏（平泉町）、鎌倉・足利を中心とする鎌倉御家人の浄土庭園に関して大澤伸啓氏（足利市教育委員会）である。

平成20年度のシンポジウムでは、およそ以下の諸点についての問題点を提示した。

### ① 立地の選定

「浄土庭園」とみなされる庭園の立地としては、どのような場所が選ばれているのか。その立地選定はどのよ

うな基準でなされたものか。浄土の世界観など思想的な背景は立地選定に影響しているのか。

### ② 群としての浄土庭園の意味

宇治・岡崎・鳥羽・平泉・鎌倉などでは、浄土庭園が群として造営されている。これらはなぜ群を形成するにいたったのか。その形成過程や性格・用途の共通性や相違点についての比較研究が必要ではないか。

### ③ 環境の取り込み

背後の山や河川をとりこむという空間構成の意義はどこにあるのか。「浄土曼荼羅（来迎図）」の三次元的表現という解釈や浄土教の教義からの解釈で十分か。

### ④ 作庭時期

平安中期からの末法思想に影響された阿弥陀堂の「仏堂前池」をのみ「浄土庭園」と解釈してよいのか。奈良時代の平城京阿弥陀浄土院は、浄土庭園の系譜上いかに位置づけることができるのか。また鎌倉や足利など東国の浄土庭園は、平安時代の浄土庭園と性格や形態が同じといえるのか。

### ⑤ 用語と定義

「仏堂前池」を「浄土式庭園」・「浄土庭園」と呼ぶことの妥当性はあるのか。阿弥陀仏のみではなく薬師仏や大日如来を安置する御堂を荘厳する園池をも「浄土庭園」の範疇にとらえるのか。

平成20年度の事例報告は多岐にわたる詳細なものであり、さまざまな問題点が指摘されたものの、質疑は事実確認にとどまった。そこで本年度のシンポジウムは、大妻女子大学の倉田実教授をお迎えして平安時代の貴族の建築・庭園に関する基調講演を行うとともに、昨年度の講師陣を中心とし、特に先に提示した5つの課題に論点を当て、各事例を比較検討する中で「浄土庭園」の特徴を明らかにしていくこととしたい。



特別名勝及び史跡 浄瑠璃寺庭園

## 公開シンポジウム・見学会 スケジュール

平成21年11月8日(日)

### ■現地見学会

講師：鈴木久男（京都産業大学教授）

集合場所：近鉄竹田駅（京都市営地下鉄竹田駅と同一）  
南駅舎改札出口

9：30 集合・受付

行程（予定）：東殿跡・近衛天皇陵・安楽寿院（九体阿弥陀堂跡）・復元庭園・白河天皇陵（成菩提院跡）・田中殿跡・金剛心院跡・北殿跡・勝光明院阿弥陀堂跡・秋の山（南殿跡：史跡鳥羽離宮跡）

11：30 近鉄竹田駅にて解散

（各自昼食・移動）

※シンポジウム会場までは、近鉄竹田駅から丹波橋駅下車、京阪線に乗り換え神宮丸太町駅下車が便利です。

### ■シンポジウム 再考・浄土庭園2

会場：京都市職員会館かもがわ

（京都市中京区土手町夷川上る末丸町 284）

13：15 受付開始

13：30 開会

開会あいさつ

仲 隆裕（日本庭園学会関西支部長）

13：35～14：15 「平安後期物語『狭衣物語』の庭」

講師：倉田 実（大妻女子大学教授）

14：30～16：30 パネルディスカッション

進行：仲 隆裕・今江秀史

パネラー：杉本宏（宇治市）・前田義明（財団法人京都市埋蔵文化財研究所）・鈴木久男（京都産業大学）・大澤伸啓（足利市教育委員会）・倉田実（前出）

テーマ1：浄土庭園の立地と浄土庭園群の成立・展開

テーマ2：浄土庭園の意匠と形態

テーマ3：思想と性格

テーマ4：浄土庭園の再定義は可能か

16：30 質疑応答

17：00 閉会

### ■現地見学会

#### 集合場所参考地図

※竹田駅へはJR京都駅から京都市営地下鉄烏丸線または近鉄奈良線に乗り換えて下さい。双方とも同じ駅です。

改札口は南北2つあります。集合は南駅舎（奈良側）です。



## ■研究会・シンポジウム 集合場所参考地図

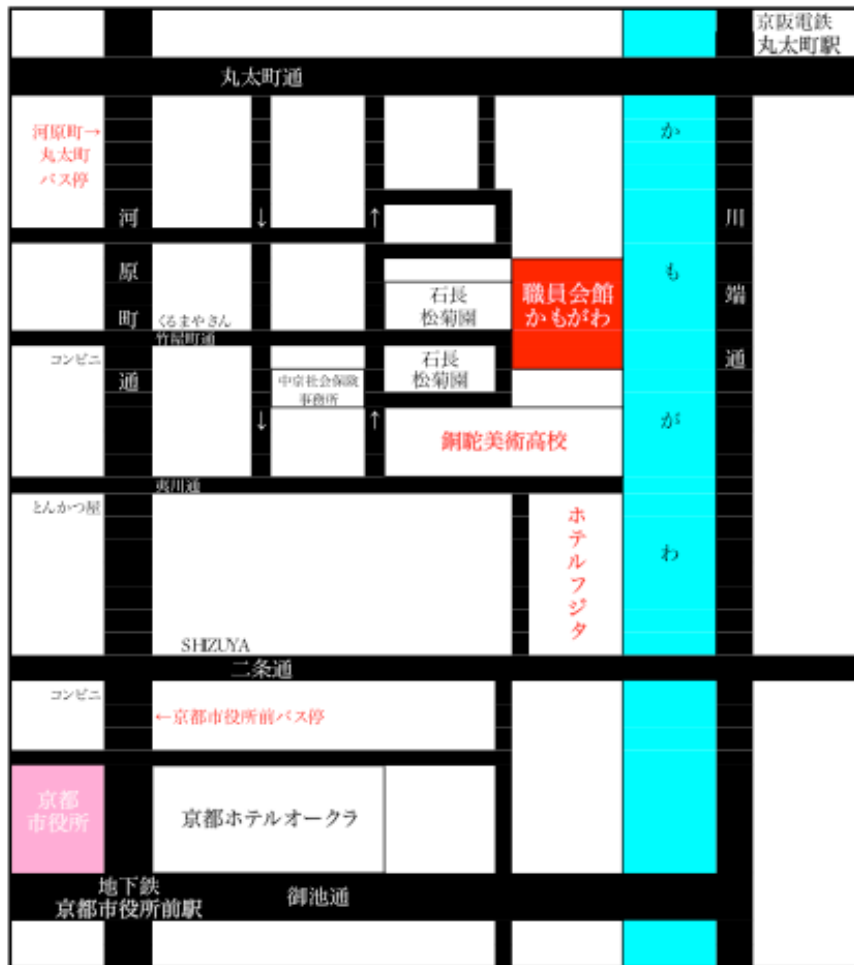
&lt;研究会・シンポジウム会場へのアクセス&gt;

京阪電鉄 神宮丸太町駅下車 徒歩5分

京都市営地下鉄東西線 京都市役所前下車

徒歩10分

## 職員会館「かもがわ」マップ



京阪電鉄ご利用の方 丸太町駅下車 徒歩約5分

京都市営地下鉄ご利用の方

京都市役所前下車 徒歩約10分

市バスご利用の方 京都駅方面から 205または17系統にて河原町丸太町下車 徒歩約5分

北大路方面からは京都市役所前下車 徒歩8分

タクシーご利用の場合 ドライバーさんに「河原町・竹屋町をかもがわに向かって入って下さい」とお伝え下さい。または「石長 松菊園旅館」とお伝え下さい。かもがわは石長 松菊園の裏側に建っています。

緊急のご連絡の場合は次の番号に御電話下さい。

京都市中京区土手町夷川上ル末丸町284 職員会館かもがわ

075-256-1307 又は 0120-82-5252 (フリーダイヤル)

075-256-1309 (FAX)

## 会務報告

### 平成 21 年度総会

平成 21 年度 会務報告

#### (1) 総会

平成 21 年 6 月 20 日 (土) に開催された平成 21 年度総会において、下記の議事が原案通り承認された。

議題 1 平成 20 年度会務および活動報告

議題 2 平成 20 年度会計収支決算報告および監査報告

議題 3 平成 20 年度学会賞受賞者

議題 4 委員会委員の変更

議題 5 平成 21 年度活動計画

議題 6 平成 21 年度会計収支予算

#### (2) 理事会報告

平成 21 年度第 1 回理事会において、委員の変更が決定された。澤田天瑞氏の逝去により、企画委員会見学会運営小委員会担当副委員長の後任に野村勘治氏が就任した。

## 第 4 回日本庭園学会賞

### 募集のお知らせ

日本庭園学会では、日本庭園や日本庭園に関わる研究に関する業績を顕彰するために、日本庭園学会賞を設けました。今年度は第 4 回の募集をおこないます。

審査の対象は、論文など学術に関すること、庭園技術や技能に関すること、庭園に関する著作等です。著作等には、映像や写真も含まれます。応募締め切りは 1 月 15 日です。なお、応募書類は返却しません。

この賞は会員ばかりでなく、会員の推薦する者も学会賞の対象者になりますので、庭園学の発展のために、自薦、他薦を含めまして、ぜひご応募のほどをお願いいたします。

#### 募集要項

1. (目的) 日本庭園およびそれにかかわる研究に関する業績を顕彰するため。
2. (対象者) 日本庭園学会員または学会員の推薦する者。
3. (対象) 学術：庭園に関する論文で、庭園学の発展に貢献した者。  
技術：庭園に関する計画・設計・施工、維持管理・運営、遺跡調査、復元整備、修理等庭園技術および技能の発展に貢献した者。  
著作等：庭園に関する著作、映像、写真等の業績が極めて優れていると認められた者

なお、他に奨励賞を設けることができる。

4. (表彰) 総会で学会長が授与し、その内容を日本庭園学会誌に公表する。

5. (応募) 授賞対象者は学会員または学会員の推薦する者とする。

推薦者は別紙に定めた「日本庭園学会賞推薦応募書」と選考に必要な資料を添えること。

応募書等の送付先 日本庭園学会事務局

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1 丁目 20 番 11 号  
有限会社 造園会館 事務所内

応募の締め切り 平成 22 年 1 月 15 日

応募に関する問い合わせ先

信州大学農学部 佐々木邦博

Tel & Fax 0265-77-1500 (直通)

E-mail ksasaki@shinshu-u.ac.jp



第 3 回日本庭園学会賞 奨励賞受賞の様子



## 予告 平成21年度関西研究会 第2回文化財庭園部会

平成21年11月22日(日)

2回目となる関西研究会の文化財庭園部会では、目下修理が行われている「京都市指定名勝光雲寺庭園」の見学会と研究会が開催される。文化財庭園部会では、現在、実務に活かすことのできる「文化財庭園保存管理ハンドブック(仮称)」の作成を検討している。本研究会では、文化財庭園の修理に携わる多くの関係者からの知見や要望をうかがいたいので、多数の参加を期待している。

平成21年11月22日(日)

会 場

■修理事例見学会：京都市指定名勝光雲寺庭園

(光雲寺・南禅寺禅センター <http://zencenter.jp>)

■研究会：京都造形芸術大学 学内

集合場所

光雲寺門前(京都市左京区南禅寺北の坊町59)

申し込み締め切り：11月20日(金)

申込先：関西支部事務局までFAXまたはe-mailでお申し込み下さい。

※本件については、直接光雲寺には問い合わせをしないようお願いいたします。

会費(資料代込み)：会員 1,000円

非会員 1,500円

9:45 受付

10:00 開会

10:00 修理事例報告 開始

解説：環境デザインスタジオ7+4

代表 武廣健氏

12:00 修理事例報告 終了

(昼食・移動)

13:30 研究会開始

テーマ

「文化財庭園保存管理ハンドブックの作成」

### 1. 報告

京都市内における文化財庭園の保存管理の実務

京都市文化財保護課 今江秀史

### 2. 討議

進行 京都造形芸術大学教授 仲隆裕

16:00 閉会



修理前の光雲寺庭園(南西側)



修理前の光雲寺庭園(東西側)



## 報告 平成 20 年度日本庭園学会関西大会

平成 20 年 12 月 13・14 日

平成 20 年 12 月 13・14 日の両日、京都府木津川市と奈良県奈良市を舞台に、平成 20 年度の関西大会が催された。

13 日に行われた見学会では、京都府木津川市にある浄瑠璃寺を訪れた。浄瑠璃寺は、平安時代を中心として約 30 箇所も造られたという九体阿弥陀堂が現存する唯一の寺院として有名。境内には、西に九体阿弥陀仏を安置する本堂（国宝）と東に薬師如来像を祀る三重塔を配した浄土庭園があり、史跡及び特別名勝に指定されている。翌日のシンポジウムと密接に関連する格好の研究事例でもあったことから、寒空のなか活発な意見交換がなされた。

14 日は奈良文化財研究所の平城宮跡資料館大講堂を会場として、午前中に研究発表会、午後には公開シンポジウムが行われた。研究発表会では、河原武敏氏ら 4 名の発表があった。公開シンポジウムのテーマには、平安期の庭園を論ずる上で欠くことのできない庭造りの潮流である浄土庭園が取り上げられた。

浄土庭園については、既に数多くの資料及び発掘調査の成果によって語りつくされた感がある。しかしその一方で、以下の点については考察が不足しているとも考えられる。

それぞれの浄土庭園観に基づく立地を選定する意志について論究できているか。平泉、足利・鎌倉、京都の岡



浄瑠璃寺庭園見学の様子



シンポジウムの様子



研究発表会の様子

崎・鳥羽、宇治で展開した浄土庭園群は、なぜ群として造られるに至ったのか。また、それぞれ性格や用途は異なることから、その共通性・独自性について比較研究が出来るかできているか。浄土庭園造りが環境を取り込んで造ることとなった動機は、浄土教や浄土曼荼羅図からだけで語ることが出来るのかなど。

そこで、以上の問題点に立脚して、浄土庭園群が造られた地域ごとに多角的な視点で情報提供をし、将来的な研究の可能性が探究された。平泉、足利・鎌倉、京都の岡崎・鳥羽といった地域の埋蔵文化財調査に携わる 4 名の話題提供者から、浄土庭園に関する興味深い事項が数多く提示され、多くの課題を残しながらも盛況のうちにシンポジウムの幕は閉じた。

報告 平成20年度関西研究会  
第4回 考庭学部会

平成21年2月8日(土)

平成21年2月8日、けいはんな記念公園ビジターセンターにおいて、関西研究会の第4回考庭部会が開催された。午前中の研究会では、これまで2年間探求された事項についての成果の発表がなされ、今後の研究会の方針が話し合われた。午後からの公開シンポジウムでは、「飛鳥・藤原京」の庭について3人の専門家から話題提供があり、それを踏まえて討論が行われた。

■研究会 「総括・古代の庭」

平成21年2月8日(土) 10:00～16:55

けいはんな記念公園ビジターセンター地下1階研修室

開会の挨拶 関西研究会考庭部会 幹事 栗野隆

第一部 話題提供

1 研究会の当初課題と研究成果

奈良文化財研究所 栗野隆

2 研究成果を踏まえた今後の研究会の方針

京都市文化財保護課 今江秀史

第二部 討論

考庭学の将来性

閉会の挨拶 関西研究会考庭部会 幹事 栗野隆

司会進行 今江秀史(京都市文化財保護課)

■シンポジウム 「飛鳥時代の庭」

開会の挨拶 関西支部長 仲隆裕

第一部 話題提供

1 考庭学の射程一場の系譜を検証する(趣旨説明)

京都市文化財保護課 今江秀史

2 飛鳥時代の居宅における庭

京都市文化財保護課 家原圭太

3 藤原宮の儀式・政治空間としての庭

奈良文化財研究所 内田和伸

4 飛鳥の古代庭園—苑池空間の構造と性格—

明日香村教育委員会 相原嘉之

第二部 ディスカッション

閉会の挨拶 関西支部長 仲隆裕

司会進行 栗野隆(奈良文化財研究所)



研究会の様子



公開 シンポジウムの様子

報告 平成20年度関西研究会  
第1回 文化財庭園部会  
平成21年3月15日(日)

元来、文化財庭園の保存管理は、文化財庭園の所有者と保存管理技術者（以下、技術者とする）との間に限定して行われるものであったこともあり、特段意識して記録がなされ、技術者間で技術や情報が共有されることは希であった。またむしろ、技術者集団（店）の技を秘匿することが求められ、むしろ技術者間で技術や情報の共有は避けられてきたという側面がある。

そもそも、文化財庭園の保存管理は、多種多様な現象を扱う必要があり、さらに記述そのものが極めて難しいため、修理・保存管理の過程や結果を記録に残すことが避けられてきたという側面がある。以上述べてきたような文化財庭園を取り巻く数々の課題について、学識者・設計監理者・技術者・埋蔵文化財調査者・行政担当者らが協力して考察・記録の蓄積をすることによって、各々の意思疎通を円滑にし、結果として文化財庭園の良好な保存に寄与することを目的として立ち上げられたのが、関西研究会の文化財庭園部会である。

第1回の研究会のテーマとしては、まず研究対象の領域がどれほどあるかを掌握するため、現時点で想定される文化財庭園の保護に関する諸問題の抽出を行った。様々な分野と立場の研究者・実務者から実に多くの話題が提供され、改めて文化財庭園の保存管理を取り巻く課題の多さを再認識させられる結果となった。

主題：文化財庭園の保護に関する諸問題

日時：平成21年3月15日(日) 10:00～17:00

会場：けいはんな記念公園（京都府精華町）

ビジターセンター1F 研修室

テーマ1 文化財庭園における松くい虫被害とその対策について

1 材線虫病の発病メカニズム

森林総合研究所関西支所 黒田慶子

2 京都市指定名勝白河院庭園の松枯れ被害の状況

株式会社京都造園 前田大介

テーマ2 文化財庭園の修理と記録



話題提供の様子

3 文化財庭園の修理に相応しい記録の探求

京都市文化財保護課 今江秀史

京都造形芸術大学 仲隆裕

テーマ3 文化財庭園の修理に伴う発掘調査

4 特別史跡及び特別名勝醍醐寺三宝院庭園の埋蔵文化財調査

京都市埋蔵文化財研究所 吉崎伸

5 埋蔵文化財調査成果の文化財庭園修理設計への転用

株式会社環境事業計画研究所 北川明日香

テーマ4 文化財庭園の保存管理計画報告書の作成

6 京都市指定名勝の保存管理計画の策定と運用状況

京都市文化財保護課 今江秀史

7 京都市指定名勝極楽寺庭園の保存管理計画

株式会社曾根造園 相田諭希典

テーマ5 文化財庭園の修復剪定

8 国指定名勝清風荘庭園の修復剪定基本計画

株式会社環境事業計画研究所 吉村龍二

京都市文化財保護課 今江秀史

テーマ6 文化財としての町家の評価

9 町家の庭に関する研究の実態

京都市文化財保護課 今江秀史

テーマ7 文化財庭園の修理に伴う材料確保

10 文化財庭園の材料確保の必要性

京都造形芸術大学 仲隆裕

## 報告 平成21年度日本庭園学会全国大会 平成21年6月20・21日

平成21年6月20日・21日（土・日）の両日、千葉大学園芸学部松戸キャンパス（千葉県松戸市松戸648）と同キャンパスに隣接する戸定邸を会場として、平成21年度の全国大会・総会が開催された。

20日の「戸定邸と千葉大学園芸学部松戸キャンパスの庭園」と題して行われた研究会では、松戸市戸定歴史館の齊藤洋一氏と藤井英二郎学会長から講演があった。続いて戸定邸と千葉大学園芸学部松戸キャンパスの現地見学会が行われた。その後は、日本庭園学会賞贈呈式並びに記念講演が行われ、松戸キャンパス内の別棟緑風会館2階で懇親会が行われた。

21日は総会と研究会が行われた。午前から午後を通して行われた研究会では、11名による研究発表が行われた。

### 平成21年6月20日（土）

■研究会「戸定邸と千葉大学園芸学部松戸キャンパスの庭園」（主催：日本庭園学会・後援：松戸市・松戸市教育委員会）

会場：園芸学部E棟2階合同講義室

#### 開会あいさつ

戸定邸とその庭園

松戸市戸定歴史館館長補佐・学芸員 齊藤洋一

千葉大学園芸学部松戸キャンパスの庭園

千葉大学大学院教授・日本庭園学会長 藤井英二郎

戸定邸と千葉大学園芸学部松戸キャンパスの現地見学

日本庭園学会賞贈呈式

閉会あいさつ

懇親会（松戸キャンパス内 別棟緑風会館2階）

### 平成21年6月21日（日）

■研究発表会

会場：園芸学部E棟1階103教室

#### 1「龍安寺庭園の作庭の意図についての考察」



千葉県指定名勝 戸定邸庭園

杉尾伸太郎（プレック研究所）

#### 2「竜安寺石庭の石組に関する研究第2報」

堀澤 眞澄（堀澤医院）

#### 3「The“ Three Hills and Five Gardens” of Beijing with Its Organization and Representation as of a Landscape City」

高 傑（千葉大学大学院園芸学研究科）

#### 4「海外の日本庭園—オーストラリア・ニュージーランドの日本庭園に関する研究—」

牧田 直子（東京農業大学大学院農学研究科）

#### 5「医療法人 式場医院の敷地構成と庭園の特徴に関する考察」

今井 由江（千葉大学園芸学部）

#### 6「二代松本幾次郎と旧斎藤家夏の別邸庭園」

松本恵樹・鈴木 誠（東京農業大学造園科学科）

#### 7「対植に対するアメリカ人の眼球運動の特性に関する研究」

佐野 新（千葉大学大学院園芸学研究科）

#### 8「イギリスの屋上庭園」

永瀬 彩子（千葉大学大学院園芸学研究科）

#### 9「高梨氏庭園の構成の推移とその背景に関する考察」

林 洋一郎（タム地域環境研究所）

#### 10「江戸時代後期における山水画風庭園」

大澤伸啓（足利市教育委員会）

#### 11「明治から戦前までの出版物にみる洋風花壇の変遷に関する考察」

能勢健吉（淡路景観園芸学校）



## 報告 第3回日本庭園学会賞 授賞式 平成21年6月20日(土)

平成21年6月20日(土)に開催された平成21年の全国大会総会において、第3回日本庭園学会賞贈呈式が行われた。最初の受賞となったのは、長期間、雑誌「庭」の刊行を通して庭園文化の普及啓発に寄与された龍居庭園研究所の龍居竹之介氏である。奨励賞には、『日本の庭ことはじめ』の出版が幅広い社会層へ庭園文化を伝える契機となっているとして、景観設計室タブラサの岡田憲久氏が受賞された。当初予定されていた式後の記念講演は、龍居氏が病氣療養中のため中止され、代理の親族の方から受賞者からの言葉を頂いた。

### 第3回日本庭園学会賞 受賞者

学会賞 龍居竹之介 氏

長年にわたる雑誌『庭』の発刊の功績

奨励賞 岡田憲久 氏

『日本の庭 ことはじめ』の出版による庭の普及啓発

### 受賞者からの言葉 龍居竹之介

本日は日本庭園学会賞を賜りましてありがたく、心よりお礼申し上げます。身に余る光栄でお知らせを頂きましたときはもちろん、いまなお夢のような心持ちでございます。

その受賞が雑誌の成果を認めて下さったことにあると伺い、嬉しさ倍増というところであります。古い話になりますが、昭和45年ころ東京との石川岩雄さん、目黒区の小泉賀一郎さんたちから「庭の雑誌を出したいという人がいるから相談に乗ってあげて」との連絡を受けたのが発端でした。企画者は建築資料研究社の馬場瑛八郎社長。ご当人は、建築家であり、建築雑誌を出すのが夢でしたが、雑誌の出版事情がよく分からないので、まずは類書のない庭の専門誌でテストでも、という不思議な話だったのです。

こうして雑誌「庭」は昭和47年に創刊されました。正直いって瓢箪から駒といったスタートでした。当時は編集委員として参加していましたが、3年ほど経ったとき馬場社長から「季刊誌として「庭」の別冊をつくって

ほしい。すべてあなたの好きなようにして貰って結構なので」と依頼されたのです。それで私の企画編集による季刊の「別冊・庭」が、昭和51年から刊行の運びとなったのでした。以後、本誌と合併したり隔月刊行になったりしながら今日に及んだ次第です。そしてこの7月1日発行の188号をもちまして、私はこの仕事から退くことにいたしました。あたかもそれを記念して下さるかのような今回の名誉で、その意味でもこの日本庭園学会賞受賞は感慨深いものがございます。

私はこの雑誌で何とか多くの方に庭の楽しさをお伝えしたいと考えました。それとともに、広く日本各地で誰が、どんな技で、現代の庭をつくっているのかもお知らせしたかったのです。加えて、全国の庭の現場の人同士の交流の場にとの念も強烈でした。それは、こうした面が日本の庭社会に一番欠けていること、かねがね残念に思っていたからで、それを実行してみたのです。さらにそのスタートの際、心に期したのが「3号雑誌で終わらせることだけはしたくない」ということでした。結果として内容については課題だらけのうちに終わりましたが、3号以上の数を重ねたことだけは誇りに思っています。しかしそれもひとえに支えて下さった方々のお力によるものです。その意味で今回の受賞は読者も含めて雑誌にかかわった人すべてに対してのものと承知しており、ありがたくて感謝の念で一杯です。

この「庭」誌は今後も新しい企画編集者による続刊が決定しております。どうか私の時代と同様に、今後もよろしくご指導、ご後援のほどをお願いいたします。

最後に日本庭園学会の一層のご発展をお祈りするとともに、療養中のため欠席いたしましたことを心からお詫び申し上げます、ご挨拶の結びといたします。



学会賞受賞の様子

## 総務委員会に関する事務連絡先の変更について (再連絡)

学会役員の変更に伴う総務委員会の事務分担の変更に  
より、総務委員会に関する事務の連絡先が変更になって  
おりますので、再度お知らせします。

また、併せて、学会専用のメールアドレスを新設致し  
ておりますのでご利用下さい。

### 1 連絡先

郵便の場合：〒 271-8510 千葉県松戸市松戸 648  
千葉大学園芸学部環境植栽学研究室  
藤井英二郎教授気付

電話・FAX の場合：0265-77-1500

(信州大学農学部造園学研究室 佐々木邦博教授気付)

E-mail : teiengakkai@gmail.com (新設)

### 2 事務内容

- ・入会、退会、名簿情報の変更の受付
- ・年会費に関するお問い合わせ
- ・学会誌などのバックナンバーの販売
- ・その他、各種お問い合わせ

(※学会誌の販売については、ファクシミリ、電子メー  
ルでのみの取扱いとなります。電話での注文はご遠慮く  
ださい。)

## 会費納入のお願い

平成 21 年度の会費納入のお願いを全会員に送付して  
おります。納入額をご確認のうえ、納入のほどよろしく  
お願いします。

## 表紙の写真

【千葉大学園芸学部松戸キャンパス内の庭園】

### ■編集後記

またしばらく号外が続きました。約 1 年ぶりの学会  
ニュースの発行です。本年度の学会ニュースは年 2 回  
の発行となり、見学会や研究会のご案内は随時号外でお  
届けするかたちとなっています▼見学会開催も再会さ  
れ、大澤理事のお世話で足利の巖華園、高瀬・野村理事  
のお世話で根来寺・粉河寺庭園の見学会が行われました。  
いずれも所有者の方々、調査や修理を担当された方々か  
ら直接にお話をうかがうことができ、味わい深い見学会  
でした▼関西大会では、長年鳥羽離宮跡の発掘調査に携  
わってこられた鈴木久男理事のご案内で見学会が開催さ  
れます。発掘された庭石を用いた庭園の見学も楽しみで  
す。平安朝文学の倉田実氏の講演をはじめ、浄土庭園に  
関するシンポジウムにもぜひご参加下さい▼研究発表会  
では、今回初めての発表となる方がお二人いらっしゃい  
ます。「まだ発表会に参加したことがない」という会員も、  
次回はぜひチャレンジして下さるようお願いいたしま  
す▼日本庭園学会誌・学会ニュースともに投稿をお待ち  
いたしております。多くの方からのご意見を反映しての  
よりよい紙面作りを通して、学会の活性化に寄与するこ  
とを願っております (T.N)

■学会ニュースへの投稿や、本誌「学会ニュース」や興  
味があるホームページ作成に興味があるという方は、下  
記宛に郵送または FAX にてご連絡頂けますよう、よろ  
しくお願いします。

〒 606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116 京都造  
形芸術大学日本庭園研究センター気付

日本庭園学会 広報委員会「学会ニュース」係

FAX(075)791-9342

編集長／仲 隆裕 編集・写真・構成／今江 秀史

協 力／縄雅貴靖

### 日本庭園学会広報委員会

〒 606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

京都造形芸術大学日本庭園研究センター気付

日本庭園学会関西支部事務局 FAX(075)791-9342